

出産・育児

- × 37週 正常分娩 誤ってカバサル投与され、一過性の幻視・幻聴が出現したが、抗不安薬投与で乗り切る。新生児を抱いて晴れ晴れした表情に。
- × NICUに子供が2週入院となり、不安が高まり、幻聴が悪化したため、リスパダール8ミリまで増量。
- × 夫、母親の強力な援助で何とか育児に携わり、安定してきたが、顔面のジストニアが出現するようになったため、再びアリピプラゾール24ミリに変更。
- × 少しずつ育児に慣れ、1歳の誕生日を迎え、幻聴、妄想が出現しなくなった。育児疲れは訴えるが、子供と児童館に出かけるなど、育児も慣れてきている様子である。
- × 次は第2子が目標？？

恋愛が精神症状改善のカギとなる例

- × 主治医の勧めでお見合いクラブに入会。交際を申し込まれることが何回もあり、本格的なデートを続ける相手ができ、徐々に長年の被愛妄想が消失した。考え方、振舞い方もかなり成長したように思われた。Aさんは結婚する気にならずその相手と別れた。
- × 2年前にお見合いクラブであった人をAさんが好きになり、何回かデートし、結婚を考えるようになった。Aさんの強い希望で薬物を減量した。

子育て援助

- × 育児は物理的にも心理的にも大変なので、サポートネットワーク作りが大切。夫や実母などの家族、専門家、保育の専門家、近隣の人などサポートが得られそうな人をつなぐことを試みる。
- × 本人の病状安定と、親としての役割とのバランスがむずかしい。
- × 保育園などを積極的に活用する。子連れデイケアなども生まれている（例：東横線反町駅ひまわりクリニック）。
- × 婚家先との付き合いには、「知恵」が必要。簡単ではない。

恋愛が精神症状改善のカギとなる例

- × 交際相手から結婚の返事がないことに反応して、再び被愛妄想・追跡妄想が出現、同時に服薬を中断したため、妄想気分、体系的な被害妄想が発展した。
- × 母の協力で「かくし飲ませ」を行い、落ち着いたときに、Aさんにそれを打ち明けた。Aさんはびっくりし、それを受け入れるまでに1ヶ月かかったが、「薬を飲んでいなかったためといわれてしまうかもしれないが、彼が自分を守ってくれている、そのうち結婚できると思っていた。高揚した気分だった」と述べた。

恋愛が精神症状改善のカギとなる例

- Aさん、38歳女性。
- 高校時代に発症し、引きこもりの生活を数年間経てデイケアに通所して元気になり、20歳半ばで大学に入学。
- 大学2年のころ、先輩に被愛妄想を抱き、徐々に被害・追跡妄想も加わって以後6年間続いた。何とか大学卒業し、簡単なアルバイトをしていた。

恋愛・結婚への援助の考え方

- × 医学的・身体的視点、心理的成長の視点、所属する集団の文化や価値観を総合的に考えて援助することが大切。
- × 思春期の性衝動は体感幻覚などと結びつきやすい。不安を受け止め、適切な情報を提供する。
- × 恋愛・性行動は思春期・青年期の大切な成長課題である。しかしその生理的・心理的緊張は再発の契機ともなりやすい。
- × 親密な関係を維持するための人格・スキルが学習されていない場合がある。
- × 仲間から学習すべき恋愛・性行動が学習されていないことがある。

恋愛の援助

- 恋愛・性行動のスキルについて学習する場（仲間グループ、学習プログラムなど）があるとよい。仲間で学べないことを治療者が補足するつもりでかかわる。
- 再発しやすい人は時にはドクターストップも必要。「再発から学ぶのはむずかしい」
- 結婚を考えるくらいに交際が進展したら、病気のことを打ち明けるようにすすめる。主治医が会ってもよい。秘密にすると結婚後の再発につながりやすい。婚家先については、ケースバイケースで慎重に。
- 婚約から新婚旅行までは再発しないことが多い。

治療の場での恋愛・結婚

- 病棟、作業所、デイケア、グループホームなどそれぞれの場に応じ、「恋愛・結婚の自由と、治療の場の枠組みとのバランス」をふまえたルール作りが必要。そのルールを明示し、利用者ともよく話し合うこと。
- 対人関係でうまくいかないときに異性に近づくパターンが見られるときは、本人とそのパターンを話し合えるとよい。
- 再発に結びつくときも、治療的介入が必要。

交友・恋愛・性行動のモジュール¹

- 約30時間のプログラム
- 数人のグループで実施
- 同性・異性に限らず、親密な良い関係を築くためのコミュニケーションが基本と考えられており、そのスキルをまず学習する。
- 恋愛・性行動にまつわる情報を充分提供し、さらに問題解決技能訓練を用いて、どう判断をしていくかそれぞれのメリット・デメリットを検討するやり方を学ぶ。
- 性感染症、望まない妊娠、性機能障害についても情報提供する。

恋愛・結婚・子育ての支援：まとめ

- ✖ 統合失調症の人にとっても、一般の人にとっても当たり前の権利である。
- ✖ 人生の質を高める上で重要なので、ライフサイクルを考えながら、長期的な展望で援助する必要がある。
- ✖ 統合失調症であるための様々な困難があり、特に妊娠・出産・産褥期は再発のリスクが高い。専門的な援助やサポートネットワークが必要であり、そのための技術を普及する必要がある。
- ✖ 子育て支援を工夫していく必要がある。

交友・恋愛・性行動のモジュール²

- 第1段階：良い交友関係を築くスキル
- 第2段階：安全な性行動について。
そうした知識がどこで得られるか。
- 第3段階：性行動にすすむ場合のメリットとデメリット。
- 第4段階：パートナーとの性行動にまつわるリスクについてのコミュニケーション練習
- 第5段階：問題解決。育児についての話し

日精診療版ケアマネジメントの意義と実践

前田ケイ
ルーテル学院大学 名誉教授
ka23487@bc4.so-net.ne.jp

今日の話の概要

1. ケアマネジメントの意義
新しいサービス供給システムの必要性
用語のさまざま
診療所・クリニックでのケアマネの意義
2. ケアマネの機能と実際例
3. 研究への期待: ACT Bridging
の実践を参考にして

新しいサービス供給のシステム

ケアマネは新しいサービス供給のシステムです

- * 入院患者は病院のなかで多様な職員によりサービスを提供される。従来、地域に住む者は本人または家族等が個々のサービス提供者のところに outgoing、サービスを申し込んでいた。
- * 患者の権利理念の変化、病院から地域に焦点を移す医療体制の変化等によって、新しいサービス供給システムが必要となった。

ケアマネが必要な具体的要因

1. 長期にわたり、変化する症状、複数の病気や障害を抱えながら地域で生活する人が増えた
2. 家族など、当事者をサポートする人びとの健康や生活の状況が次第に変わってくる
3. 地域社会の法的・人的・物的な資源やサービス内容に変化がおきる
4. 自分の現在のニーズに応じた適切で包括的サービスを自力では使えない、または、サービスを知らない人たちが増えてきた

支援は当事者中心に

地域で生活する人を支援し、必要なサービスを見つけ出し、サービス間の調整をしたり、サービス効果を総合的に判断する役割を果たす組織や人が必要となる
支援の焦点をサービス供給体のニーズではなく、利用する本人の希望やニーズに置く
provider-driven → user-driven
または consumer-centered approach

よいサービスの原理

1. 包括的
2. 継続的で
3. タイムリーで
4. 調整された
5. 個別的なニーズに応じる
サービス計画/リカバリー計画をたて、実行する

用語のさまざま

1. イギリス
ケアマネジメント（ケアマネ）
2. アメリカ
ケースマネジメント
リバーマン「Personal Support Services」と
「Personal Support Specialist」を提案
"Recovery From Disability: Manual for
Psychiatric Rehabilitation", 2008

望ましい支援者の態度 1

1. 本人の病気ばかりでなく、生活全体を見る視点
「治す医療から支える医療へ」（色平医師）
09/8/19 朝日新聞朝刊
2. 本人の回復とQOLの向上に希望を持ち続ける
適切なサービスが供給されると必ず事態はよく
なると信じ、「何かできることはないか？」
を探し続ける、見つけられないのは、自分の責
任と考え、相手や病気のせいにはしない。

望ましい支援者の態度 2

3. 当事者とパートナーシップを組み、本人の能
力、回復力、希望や夢に注目し、能力を強化
する支援を行う
4. 必要な最新の情報をわかりやすく提供。本
人の理解をたしかめるためにフィードバックを
もらう。
5. 本人の意志決定を促すために、選択肢のメ
リット、デメリットと一緒に検討する

望ましい支援者の態度 3

6. 社会生活に必要な認知的・行動的スキルを教え
る
7. 支援チームの一員として、チームに貢献
する責任を果たす
8. 関係者に対して、本人の権利を擁護する
9. 関係者にタイムリーにフィードバックを行う
10. 絶えず勉強、一生勉強！最新の知識と技
術を習得するように努力する

診療所・クリニックでのケアマネの意義

1. ケアマネへのニーズを早期に発見しやすい
2. 医師やスタッフへの信頼関係ができています
3. サービスへのアクセスがいい
4. 患者の症状の悪化と再入院を防止する
5. 患者と家族に継続的に接触でき、危機介入がタイム
リーに柔軟に実施されやすい
6. 地域を熟知しているので、個人に合致した総合的で、
しかも個別的なサービスを柔軟に供給できる
7. 医師の地域での信頼をベースに諸サービスと連携し
やすい

ケアマネの機能

1. 該当する当事者（ケース）を見つける
リーチアウト
2. 当事者の希望を聴きながら、当事者や家族が経
験している状況のアセスメントを行う
3. 当事者と一緒にリカバリーの計画をたてたり、関
係者と共に本人や家族への支援計画をたてる。
必要ならば本人がサービスを利用する権利を擁
護する。

ケアマネの機能 2

4. 当事者や家族をサービスに結びつけ、サービス利用をサポートする。必要ならばスケジュールやサービス内容を調整する。利用上、本人の権利が尊重されるように気を配る。
5. 計画通りに進行しているか、発生した障害や問題に適切に対応ができていないか、心理的ニーズに対応しつつ、モニタリングを行う。
6. 必要に応じて、再評価、再計画をする

これからの研究への期待をこめて

パンクーパーのACT BRIDGING から
ACT BRIDGINGは退院後、サービス利用に結びつかないで、地域で孤立している多問題のクライアントに対する集中的なアウトリーチ・サービスで、ACTに結びつけるためのサービス

「クライアント満足度調査」2005年より
全利用者59人中 41人が調査に応じたもの

満足度調査より 1

1. あなたの目標はどのくらい達成した？
すべての目標が達成ー26. 8%
大体の目標が達成ー48. 8%
計 75. 6%
2. 助けてもらえなかった目標は？(買い物、銀行に行く、警察との交渉、就労等)

満足度調査より 2

3. 以下で助けてもらったか？(41人中)
1) 医者を見つける はいー22 いいえ13
2) バス無料券入手 はいー18 いいえ16
3) 教会につなぐ はいー6 いいえ16
4) 学校や講座 はいー14 いいえ18
5) 仕事(ボラも)を見つける はい13 N18
6) アポに行く はいー39 いいえ 2

満足度調査より 3

- 7) 住むところを見つける はい21 N 15
- 8) 処方箋をもらう はい21 N 11
- 9) 麻薬・アルコールサービス Y 12 N7
- 10) 税の申告 はいー9 いいえ24
- 11) 金銭管理 はいー17 いいえ15
- 12) 余暇活動 はいー22 いいえ13
- 13) 法律支援 はいー8 いいえ19

満足度調査より 4

4. 地域のサービスにつなげてもらったか？
75. 6% -はい 例: 自助グループなど(職員に車でつれていってもらったなど)
5. 職員への満足度は？ 5段階評価
5-29人(60%) 4-11人 いい人、
コーヒーを飲みに行くのがいいなど。
6. 職員の家庭訪問は？
90%がOK プライバシーの配慮があるので
いい(約束してから来るなど)

満足度調査より 5

7. 職員が当事者と過ごす時間の量は？
 80. 5%—適切な時間量である
 2、3週間に一回の訪問など。
 買い物に2時間。毎週、コーヒーを飲みに。
 8. このサービスで入院防止の効果は？
 78%が効果あり。生活の諸問題解決に助け
 がもらえる

満足度調査より 6

9. 職員はあなたの心配事に耳を傾けた
 か？
 95%—「はい」
 10. 友達にこのサービスを薦めますか？
 92%—「はい」
 11. このサービスへの満足度は？
 60%—非常に満足 25%—大体満足
 10%—どちらとも 5%—不満足

満足度調査 7

12. このプログラムの改善への提案は？
 ・職員を増やして欲しい ・就職先を探して
 ・一緒にコーヒーを飲む 3. 5ドルの予算を
 増やして
 ・職員ともっと、おしゃべりをする時間的余
 裕がほしい
 ・私と同じ年の人を年に1回以上は連れて
 きてほしい

Act Bridging から学ぶこと

1. サービスが何層にもなっており、全体が整備さ
 れ、公的な責任でシステム全体が運営され、
 サポートされている
2. 非常にきめの細かいサービスを行っている
3. 常に処遇効果のエビデンスを求める姿勢が明
 確である
4. 仕事の進め方が体系的であり、職員の教育・
 訓練に力を注いでいる

支える医療の総合サービス その一部としてのケアマネ機能 1

1. 精神症状や疾患のアセスメント・治療及び
 リハビリテーション・プログラム
2. 服薬管理と支援
3. 身体的状態のアセスメントと他機関・施設
 への紹介
4. 本人や家族への支持的・治療的カウンセリ
 ング・心理教育
5. 生活スキルとリスク対処のSST
6. 就労支援

支える医療の総合サービス その一部としてのケアマネ機能 2

7. 住宅探しの支援
8. 患者・家族の自助グループへの支援
9. 地域内社会資源の紹介と利用支援・権利擁護
10. ケアマネジメント・サービス
11. 犯罪をおかした、または、巻き込まれた人達に対す
 る支援
12. 各職種専門教育課程での実習生の受け入れ・指
 導
13. 職員と利用者の共同作業としての啓発活動
14. リサーチや研究活動への参加
15. 地域保健医療福祉計画への参画